



令和3年11月11日

厚生労働省及び経済産業省による「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」
**ICTを活用した健康二次被害防止のための
実証実験を開始します**
～メンタルヘルスの悪化、認知機能の低下などの抑制・予防効果を検証～

見附市の高齢者世帯を対象に、国立大学法人筑波大学、株式会社つくばウエルネスリサーチ、損害保険ジャパン株式会社が主体となり、高齢者でも簡単に利用できるICT機器を活用した実証実験を12月1日より行います。本事業は、日常生活において、離れた家族とテレビ電話で会話することにより、基礎疾患の悪化やメンタルヘルスの悪化、認知機能の低下などの抑制・予防が可能か検証するものです。※事業概要は別紙参照

本事業関係機関による共同会見及び事業説明会、並びにデモンストレーションを下記日程で実施いたしました。

【共同会見及び事業説明会、並びにデモンストレーション】

- と き 11月4日(木) 10時30分～12時40分予定
- ところ 見附市文化ホールアルカディア 小ホール
※『健幸アンバサダー講座』内で実施
【事業説明・デモンストレーション】10時30分～12時00分
【共同会見】12時10分～12時40分
- 参加者 見附市、国立大学法人 筑波大学、
株式会社つくばウエルネスリサーチ、
損害保険ジャパン株式会社、株式会社第四北越銀行
株式会社NTTドコモ、株式会社プライムアシスタンス

【今回の事業実施について】

厚生労働省及び経済産業省による「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」の一つとして実施する、「コロナ禍における健康二次被害防止※'取組のための実証事業(いきいきプロジェクト2021)」です。見附市は、事業協力自治体として参画します。

※':「健康二次被害」とは、外出を控え運動不足になったり人との関わりが少なくなると思わぬところで体や心のおとろえが進み、病気の重症化やうつ、要介護状態などになりやすくなることを言います。

【本件の問合せ先】

企画調整課 総合戦略ICT推進室 担当: 夫馬・花谷 ☎(0258)62-1700

送信枚数 2 枚(この表紙含む)

発信者: 見附市役所 企画調整課 秘書広報係 野村(内線303)

☎(0258)62-1700 FAX(0258)63-1006

